

2026年5月22日

## 四国地域の経済動向（概要） （2026年3月分）

～四国地域の経済は、持ち直しの動きがみられる～（→）  
（持ち直しの動きがみられる）

生産（→）	鉱工業生産は、一進一退で推移している。（一進一退で推移） 鉱工業生産指数は、前月比が2カ月連続で上昇した。
個人消費（→）	個人消費は、持ち直している。（持ち直している） 百貨店・スーパー販売額（全店）は、17カ月連続で前年を上回った。 コンビニエンスストア販売額は、13カ月連続で前年を上回った。 家電大型専門店販売額は、3カ月連続で前年を上回った。 ドラッグストア販売額は、57カ月連続で前年を上回った。 ホームセンター販売額は、9カ月ぶりに前年を上回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、9カ月連続で前年を下回った。
住宅着工	新設住宅着工戸数は、2カ月連続で前年を下回った。
公共工事	公共工事は、請負金額が3カ月ぶりに前年を下回り、年度累計は23カ月連続で前年度を上回った。
設備投資	2025年度の設備投資計画額は、2年連続で前年度を上回る見込み。
雇用	雇用は、有効求人倍率が前月と同水準、一般新規求人数は2カ月ぶりに前年を上回った。
倒産	倒産件数は、前年と同数となり、負債総額は2カ月ぶりに前年を上回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

## 【四国の経済指標】

2026年3月

	四 国			全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)		前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 （2020年=100、季節調整済 前年同月比は原指数）	103.3	7.5	3.0	101.9	▲ 0.5	2.3
鉱工業出荷指数（＃）	97.4	7.3	4.4	99.5	▲ 1.1	2.0
鉱工業在庫指数（＃）	106.7	▲ 2.9	1.9	96.6	▲ 1.5	▲ 4.9
百貨店・スーパー販売額（単位：億円）（全店）	487		0.2	19,625		1.5
			0.2			1.1
コンビニエンスストア販売額（単位：億円）	263		1.1	11,295		2.3
家電大型専門店販売額（単位：億円）	100		3.3	5,015		4.4
ドラッグストア販売額（単位：億円）	271		6.6	8,325		5.8
ホームセンター販売額（単位：億円）	81		1.1	2,868		3.4
乗用車新車新規登録・届出台数（単位：台）	12,097		▲ 6.4	406,931		▲ 3.2
新設住宅着工戸数（単位：戸）	888		▲ 51.9	63,495		▲ 29.3
公共工事請負金額（単位：億円）	799		▲ 1.4	20,231		17.5
有効求人倍率（季節調整済）	1.30	（前月差	0.00）	1.18	（前月差	▲ 0.01）
企業倒産件数（単位：件）	22		0.00	924		8.32

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。有効求人倍率(季節調整済)は、前月差(ポイント差)を示す。

（本発表資料のお問い合わせ先）  
四国経済産業局 総務企画部参事官（調査担当） 重岡  
担当者：三野  
電 話：087-811-8509（直通）  
URL：<https://www.shikoku.meti.go.jp/>

# 四国地域の経済動向

(2026年3月分)

## 1. 鉱工業生産 ～一進一退～

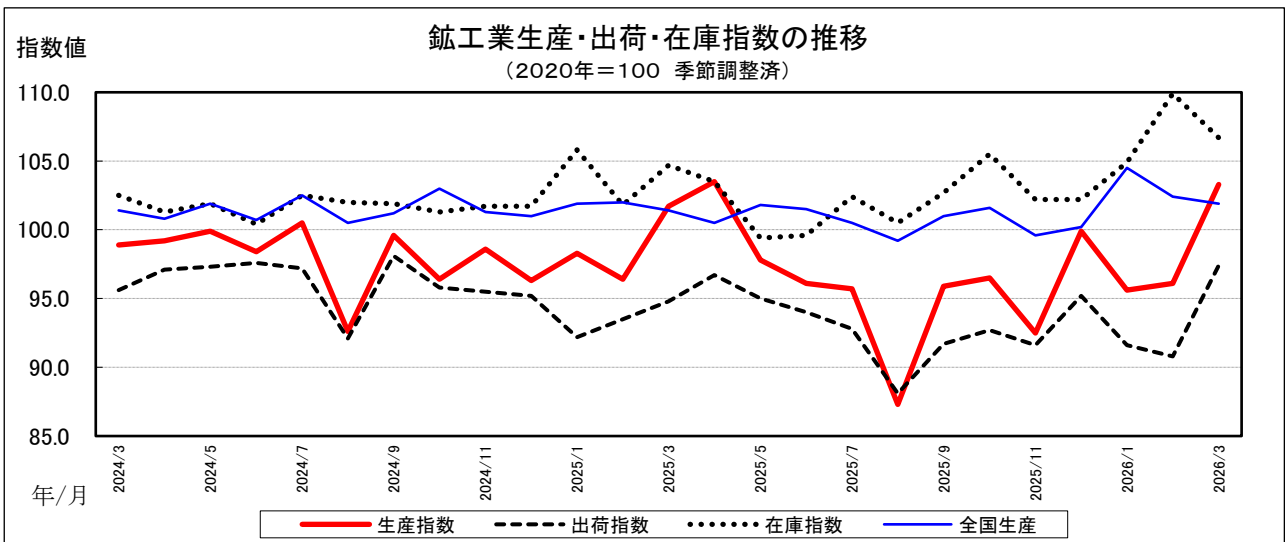
当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は2カ月連続の上昇、出荷は3カ月ぶりの上昇、在庫は4カ月ぶりの低下、在庫率は3カ月ぶりの低下となった。なお、前年同月比では、生産は3カ月ぶりの上昇、出荷は3カ月ぶりの上昇、在庫は2カ月連続の上昇、在庫率は2カ月ぶりの低下となった。

生産は、前月比7.5%増(前年同月比3.0%増)となり、生産指数(季節調整済)は103.3となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、化学・石油石炭製品工業などが上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業などが低下した。出荷は、前月比7.3%増(前年同月比4.4%増)となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、非鉄金属工業などが上昇し、電気機械工業、繊維工業などが低下した。在庫は、前月比2.9%減(前年同月比1.9%増)となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、繊維工業などが上昇し、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが低下した。在庫率は、前月比10.8%減(前年同月比8.2%減)となった。

【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 2020年=100】

(増減率:%)

前月(年)比	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
生産指数	▲ 1.2	0.6	▲ 4.1	8.0	▲ 4.3	0.5	7.5
出荷指数	▲ 3.3	1.1	▲ 1.2	3.9	▲ 3.8	▲ 0.9	7.3
在庫指数	0.5	2.7	▲ 3.1	0.0	2.6	4.8	▲ 2.9



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「鉱工業指数」、四国経済産業局「四国地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」)

## 2. 個人消費 ～持ち直している～

### (1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー260店(百貨店4店とスーパー256店)の販売額合計は487.4億円で、前年同月比0.2%増と17カ月連続で前年を上回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は64.5億円で、前年同月比2.7%増と3カ月連続で前年を上回った。品目別にみると、その他の商品は高級時計や美術品などの高額品が好調だったことなどから、6カ月連続で前年を上回った。一方、身の回り品はインポートバッグなどの動きが鈍かったことなどから、7カ月連続で前年を下回った。また、衣料品はビジネススーツなどの紳士服が振るわなかったことなどから、4カ月連続で前年を下回った。

スーパー256店の販売額は422.8億円で、前年同月比0.1%減と2カ月連続で前年を下回った。品目別にみると、飲食料品は薬物野菜を中心に相場高が落ち着いたことにより生鮮野菜が低調だったことや、前年の価格高騰の反動で米が低調だったことなどから、2カ月連続で前年を下回った。一方、その他の商品は文房具や化粧品、紙製品や洗剤などの日用消耗品が好調だったことなどから、13カ月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア1,569店の商品販売額及びサービス売上高は263.0億円で、前年同月比1.1%増と13カ月連続で前年を上回った。

家電大型専門店83店の販売額は100.1億円で、前年同月比3.3%増と3カ月連続で前年を上回った。

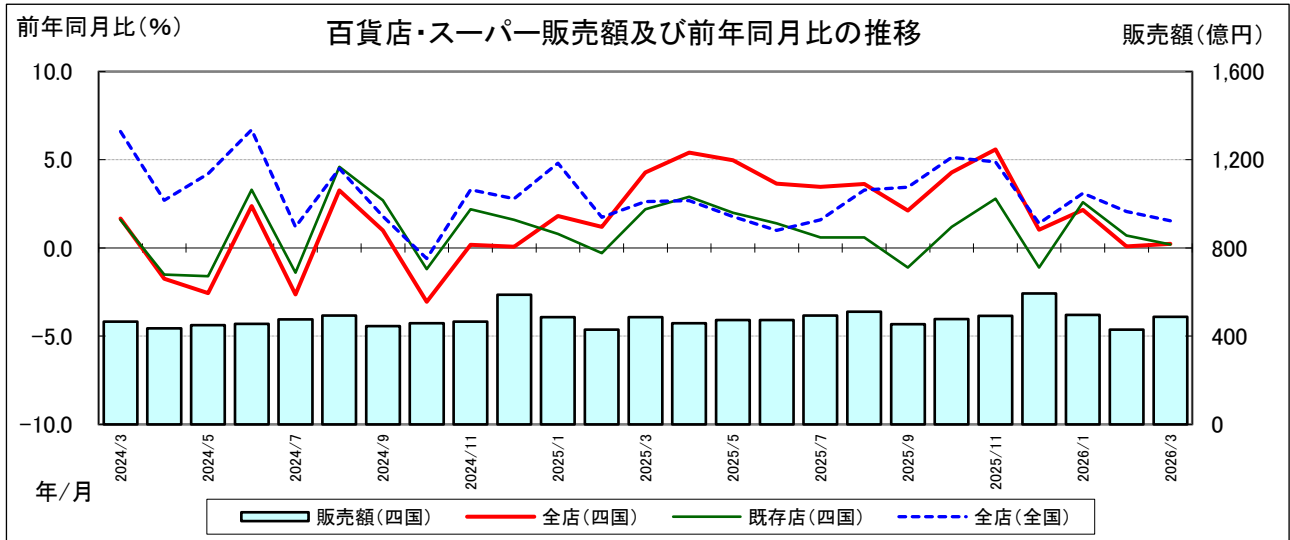
ドラッグストア687店の販売額は271.2億円で、前年同月比6.6%増と57カ月連続で前年を上回った。

ホームセンター204店の販売額は81.0億円で、前年同月比1.1%増と9カ月ぶりに前年を上回った。

**【百貨店・スーパー販売額】**

(増減率:%)

前年同月(年)比	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
全店	3.4	4.3	5.6	1.0	2.2	0.1	0.2
既存店	1.0	1.2	2.8	▲ 1.1	2.6	0.7	0.2



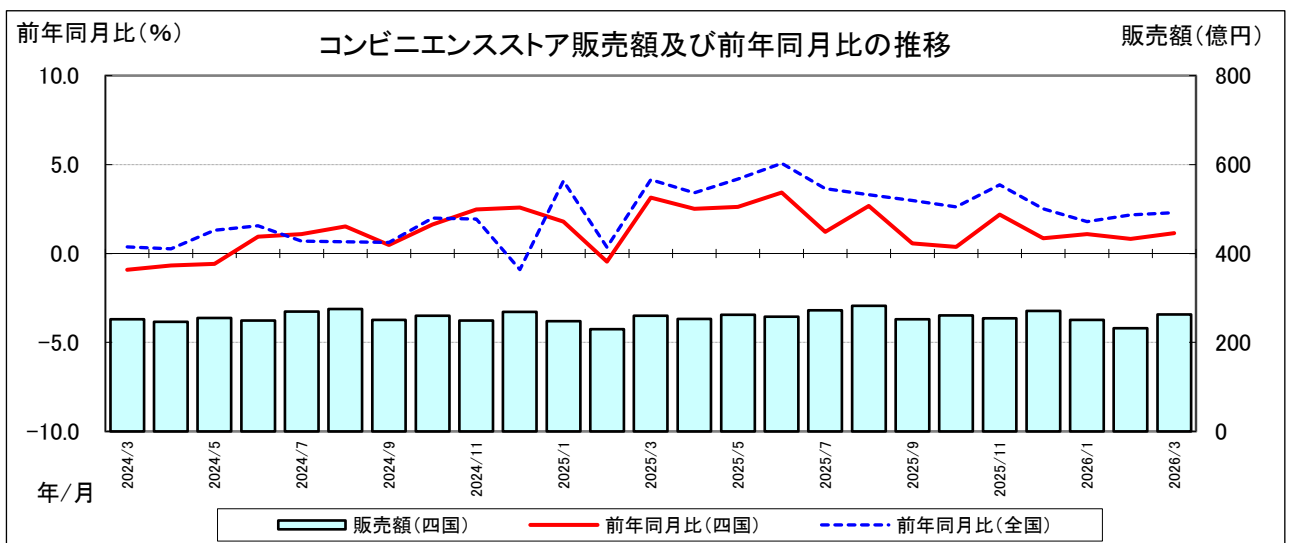
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」、四国経済産業局「四国地域の百貨店・スーパー販売状況」)

**【コンビニエンスストア販売額】**

(増減率:%)

前年同月(年)比	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	1.8	0.4	2.2	0.9	1.1	0.8	1.1



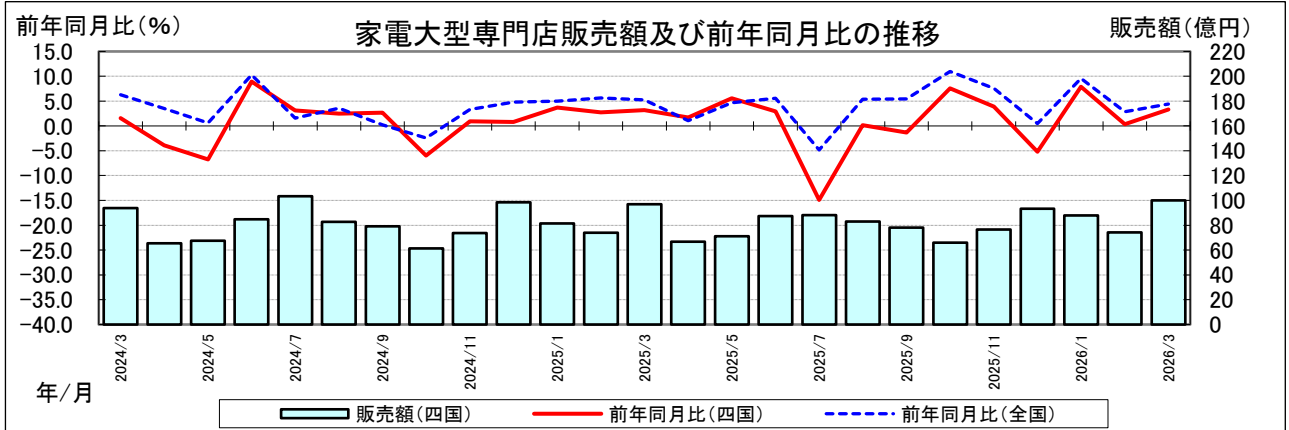
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

**【家電大型専門店販売額】**

(増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	0.1	7.6	3.9	▲ 5.2	7.9	0.3	3.3



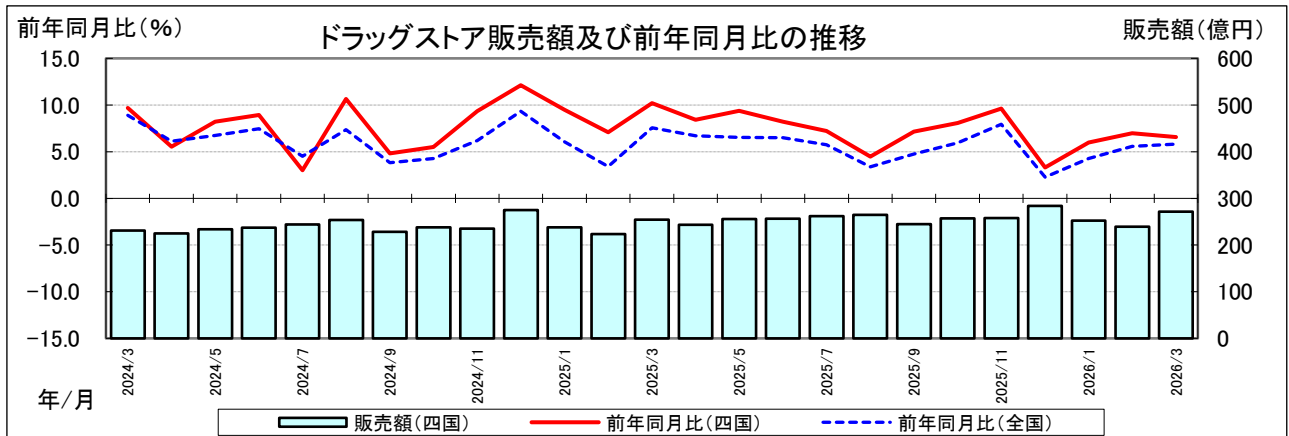
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

**【ドラッグストア販売額】**

(増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	7.6	8.1	9.6	3.3	6.0	7.0	6.6



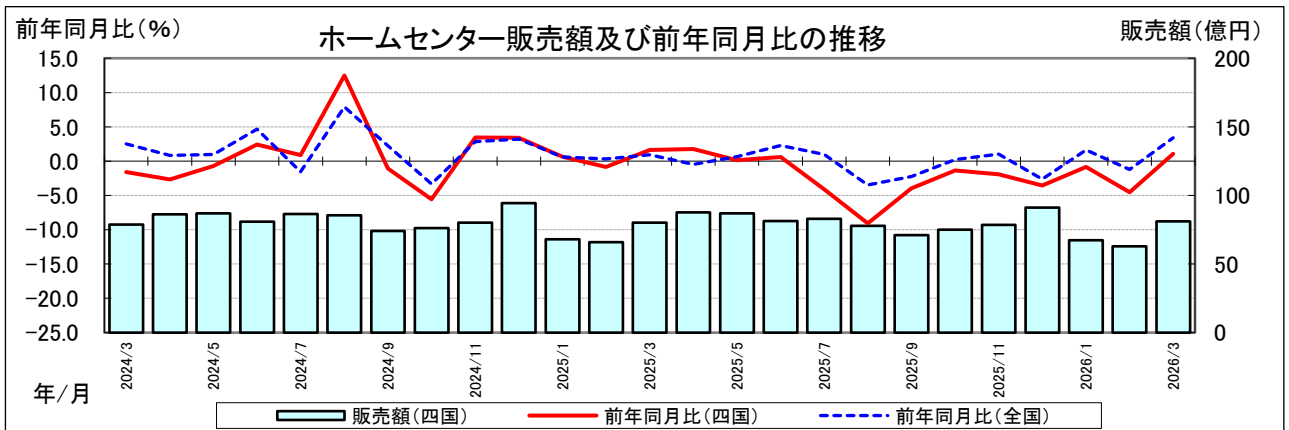
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

**【ホームセンター販売額】**

(増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 4.5	1.1



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

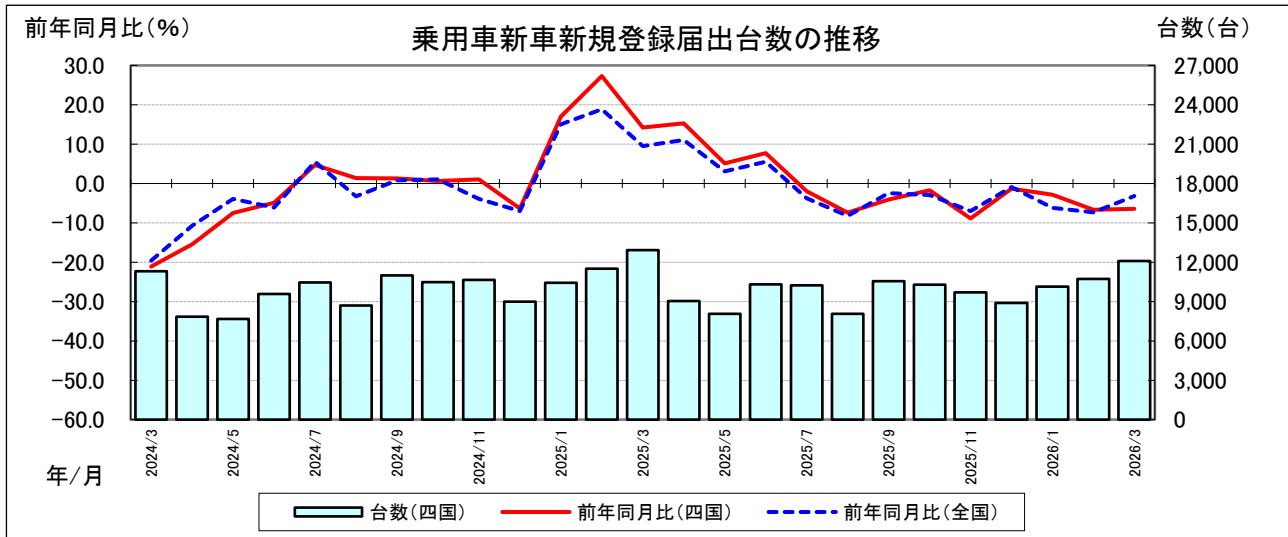
## (2) 乗用車新車新規登録・届出台数

当月の乗用車新車新規登録・届出台数は12,097台で、前年同月比6.4%減となり、9カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通乗用車が前年同月比18.1%減、小型乗用車が同0.2%減、軽乗用車が同1.9%増となった。

### 【乗用車新車新規登録・届出台数】

(増減率: %)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	4.7	▲ 1.7	▲ 8.9	▲ 1.3	▲ 2.9	▲ 6.7	▲ 6.4



(出所:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

## 3. 住宅着工

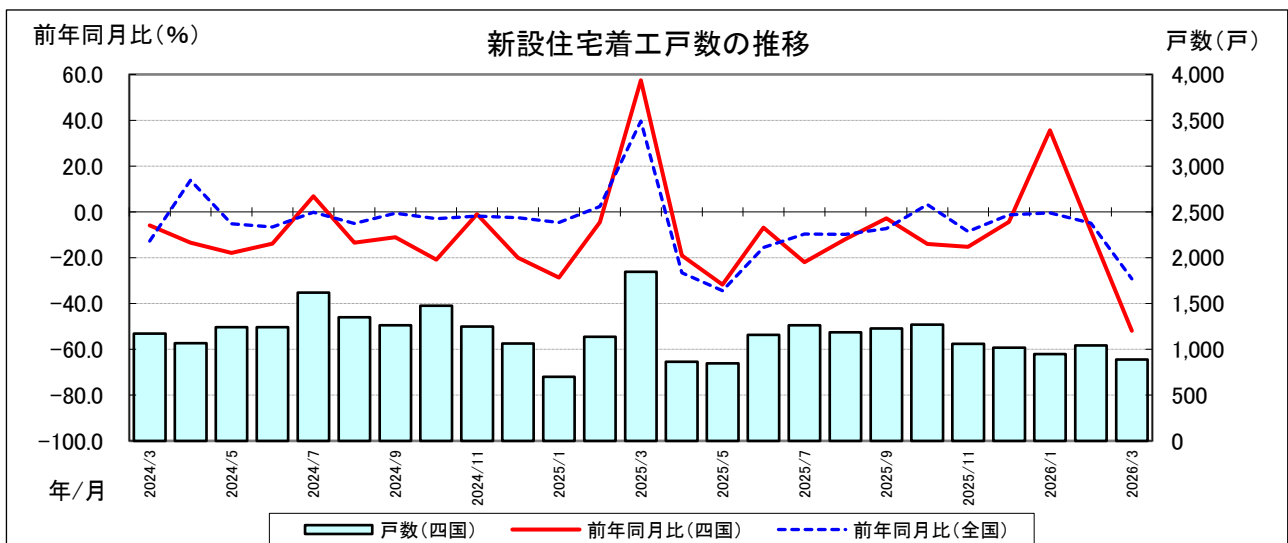
当月の新設住宅着工戸数は888戸で、前年同月比51.9%減となり、2カ月連続で前年を下回った。

区分別で見ると、持家が前年同月比47.2%減、貸家が同81.0%減、分譲住宅が同47.0%減となった。

### 【新設住宅着工戸数】

(増減率: %)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	▲ 9.0	▲ 14.0	▲ 15.2	▲ 4.4	35.6	▲ 8.4	▲ 51.9



(出所:国土交通省「建築着工統計調査」)

## 4. 公共工事

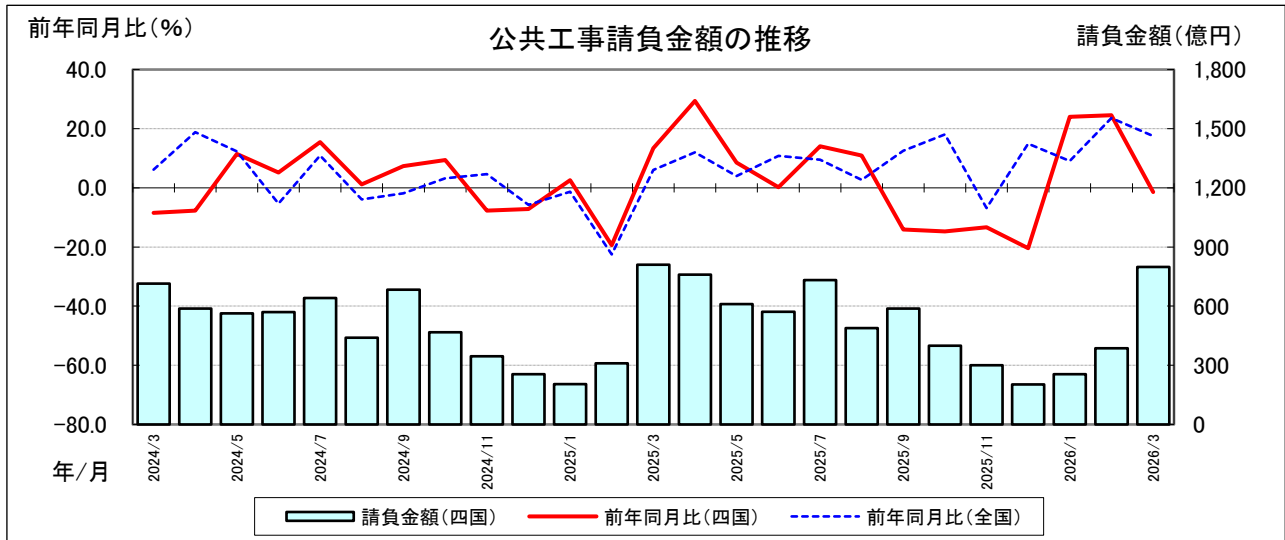
当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると799億円で、前年同月比1.4%減と3カ月ぶりに前年を下回った。前年度同月累計比では3.6%増と23カ月連続で前年度を上回った。

発注者別では、国が前年同月比72.8%増、県が同19.1%減、市町村が同2.2%増、独立行政法人等が同74.4%減となった。

### 【公共工事請負金額】

(増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年度)比	3.6	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 20.4	24.0	24.6	▲ 1.4
前年度同月累計比	-	4.9	3.5	2.1	3.1	4.4	3.6



(出所:北海道建設業信用保証㈱・東日本建設業保証㈱・西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」)

## 5. 設備投資

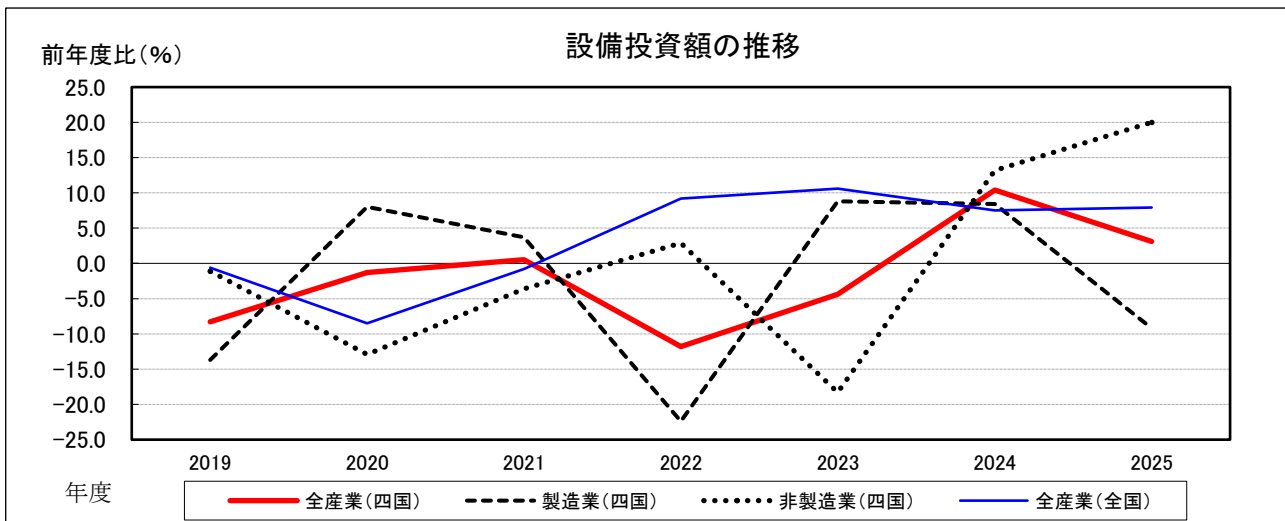
2025年度の設備投資計画は、前年度比3.1%増となっている。

業種別では、製造業が前年度比9.2%減、非製造業が同20.0%増となっている。

### 【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比:%)

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画
全産業	▲ 8.3	▲ 1.3	0.5	▲ 11.8	▲ 4.4	10.4	3.1
製造業	▲ 13.7	8.0	3.7	▲ 22.4	8.8	8.4	▲ 9.2
非製造業	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 3.6	2.9	▲ 18.3	13.2	20.0



(出所:日本銀行「企業短期経済観測調査」)

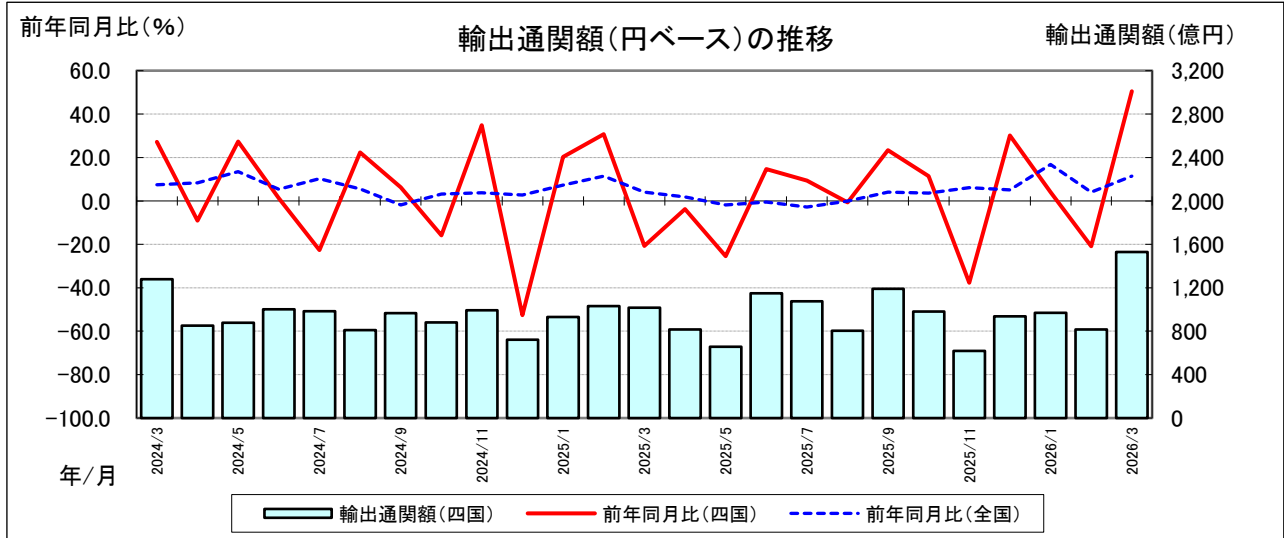
## 6. 貿 易

### (1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は1,529億円で、非鉄金属、繊維機械などが減少したものの、船舶、鉱物性タール及び粗製薬品などが増加したため、前年同月比50.5%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

**【輸出通関額】** (増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	2.6	11.4	▲ 37.6	30.1	4.0	▲ 20.9	50.5



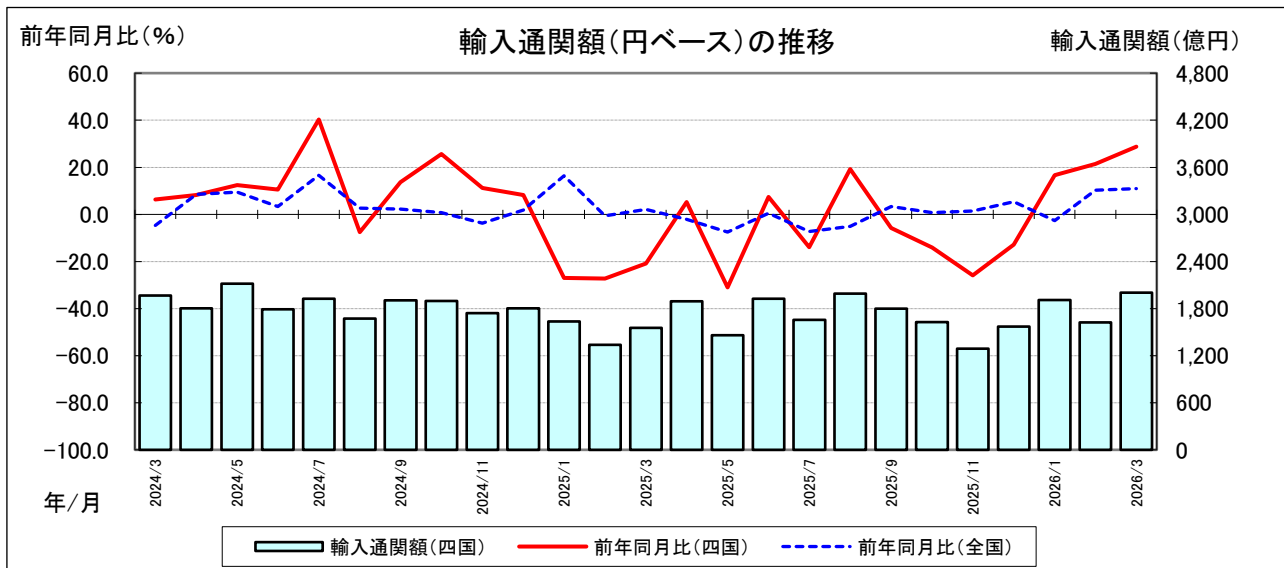
(出所:神戸税関「貿易統計」)

### (2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は2,004億円で、重電機器、木製品及びコルク製品(除家具)などが減少したものの、原油及び粗油、金属鉱及びびくずなどが増加したため、前年同月比28.8%増と、3カ月連続で前年を上回った。

**【輸入通関額】** (増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前年同月(年)比	▲ 13.0	▲ 14.1	▲ 25.9	▲ 12.9	16.7	21.4	28.8



※最新月は速報値

(出所:神戸税関「貿易統計」)

## 7. 雇 用

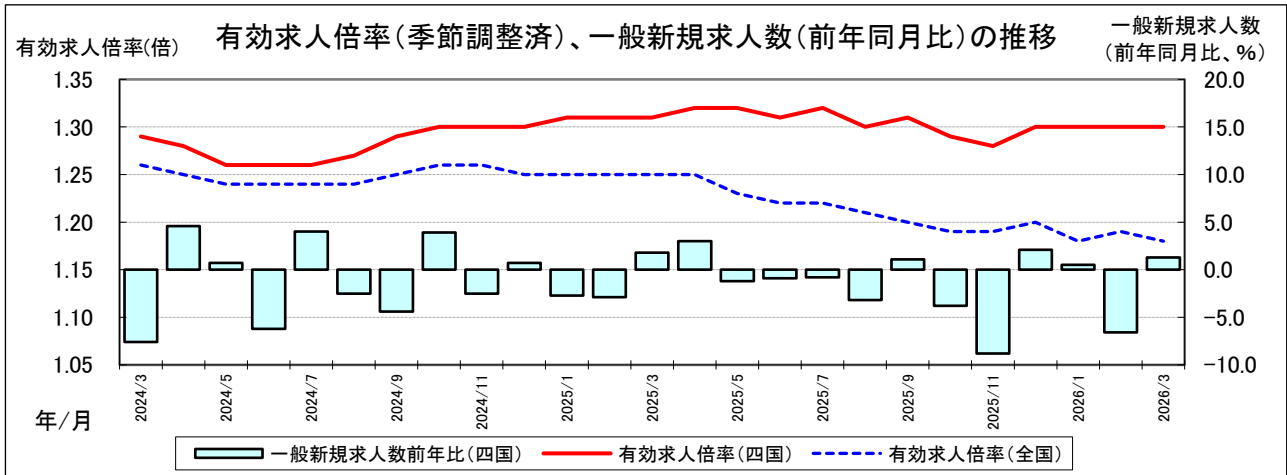
当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.30倍で、前月と同水準となった。

産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「サービス業(他に分類されないもの)」、「医療、福祉」などが前年を上回ったものの、「卸売業、小売業」、「運輸業、郵便業」などが前年を下回り、全体では前年同月比1.3%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

### 【雇用】

(倍、増減率:%)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
有効求人倍率(季節調整済)	1.31	1.29	1.28	1.30	1.30	1.30	1.30
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 1.4	▲ 3.8	▲ 8.8	2.1	0.5	▲ 6.6	1.3



(出所:厚生労働省「職業安定業務統計」、四国4県の労働局データを加工)

## 8. 企業倒産

当月の企業倒産状況をみると、倒産件数は22件で前年と同数となった。

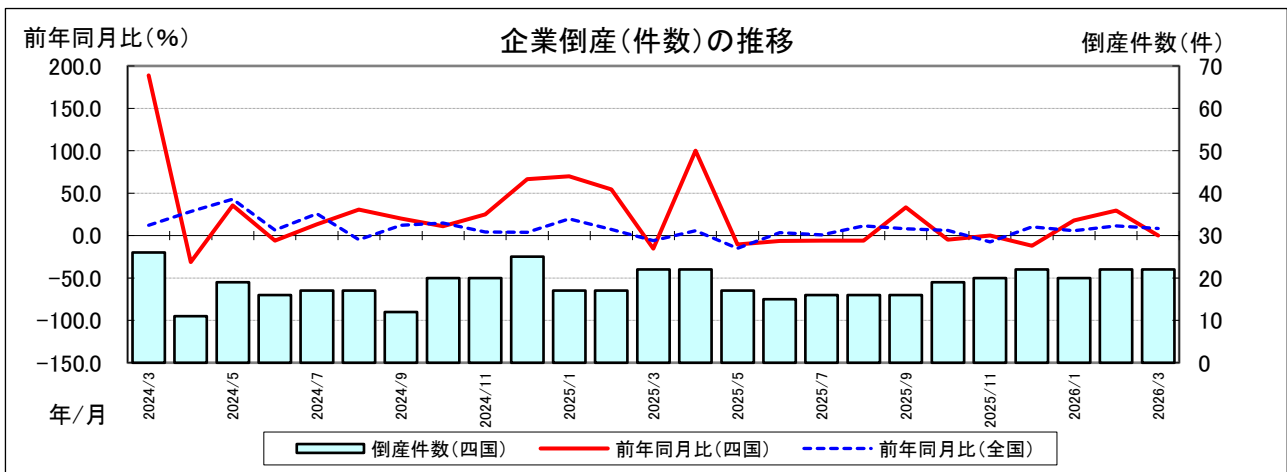
また、負債総額は32.30億円で、前年同月比78.65%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

3月の過去10年間をみると、倒産件数は2番目、負債総額は6番目となっている。原因別では、販売不振が12件、放漫経営が4件、他社倒産の余波、その他が各2件、過小資本、既往のシワ寄せが各1件となっている。また、産業別では、サービス業他が8件、建設業、製造業、卸売業が各3件、小売業、不動産業が各2件、運輸業が1件となっている。

### 【企業倒産】

(件、負債総額:百万円)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
件 数	219	19	20	22	20	22	22
負債総額	85,229	4,263	1,229	1,833	3,679	2,623	3,230



(出所:㈱東京商工リサーチ)

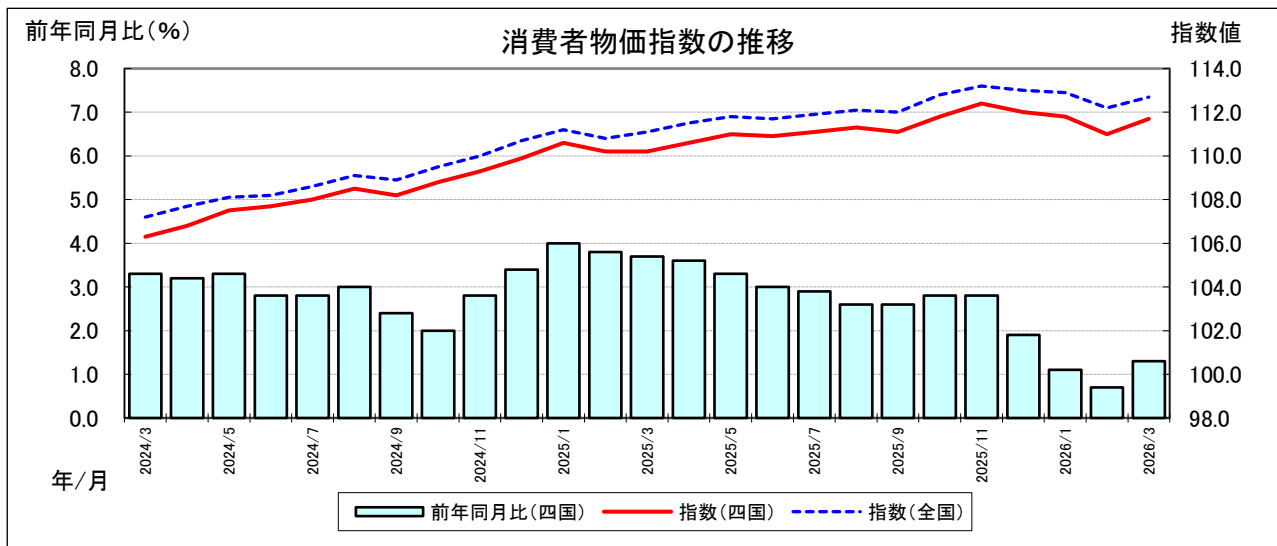
## 9. 消費者物価

当月の消費者物価指数は111.7で、交通・通信、家具・家事用品などが上昇したことから前月比0.6%増となった。また、前年同月比は、食料、家具・家事用品などが上昇したことから1.3%増となった。

### 【消費者物価指数 2020年=100】

(増減率: %)

	2025	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3
前月(年)比	3.1	0.7	0.5	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.7	0.6



(出所：総務省「消費者物価指数」)